

第1回ごみ減量部会 ワークショップでの意見(A班・B班まとめ)

資料1—1

テーマ: 課題を解決するためには、誰が何を行うと良いのか

		誰が行うのか(実施主体)		
		市民 (家庭や地域が)	企業・団体 (職場や活動先が)	行政 (市役所が)
解決すべき課題	①分別回収(リサイクル)の推進	○資源回収による雑がみの収集。お菓子の箱、メール便の箱は、リサイクルでティッシュやトイレットペーパーの芯になるので、福井市では推進している。	○消費者グループでは陽明中学校に生ごみ処理機を設置し、給食の野菜くずを一晚で発酵させ生成物に変えることができる。米ぬか、もみ殻、油粕などを入れて肥料を作ることができる。休日には「生ごみ減らし隊員」が野菜くずを陽明中まで持って行っている。 ○生ごみを堆肥へ処理できる事業所の誘致。または六呂師の堆肥センターにて生ごみを処理できるようにする。その堆肥を使った有機農産物は高く売れるので農家の所得向上につながる。 ○ある福祉施設では、ペットボトル、スチール缶、段ボールを分別しなくても回収してくれる。施設の仕事として利用者が分別を行っている。 ○粗大ごみを近所まで集めにきてもらう ○機密書類の処分について、機密書類は綴り紐やホッチキスを外して回収して焼却処分するのが一般的。一方で、費用は掛かるがシュレッダーを搭載した車で収集してくれる業者もある。綴り紐・ホッチキスも外さずにシュレッダーくずにして、リサイクル業者に渡している(焼却処分されない)。行政は環境配慮の面から、このような業者の利用を市民に推奨してはどうか。	○古着のリサイクルを進める。 ○紙パックや発泡スチロールを市が分別して回収するルールにすれば、家庭での分別意識が高まるのでは。 ○リサイクルや分別の取り組みを行うと、スタンプがもらえてポイントが貯まりお店で使える仕組みがあると良い。 ○生ごみを堆肥に変えることを業務にする事業所が大野市にもあると良い。福井市にはある。 ○紙ごみ分別の周知 ○焼却にかかるコストの削減(経費を公表し、削減量を市民に周知する) ○再利用方法の広報。ごみ処理施設の見学会を行い、市民に再利用の必要性を知ってもらう。 ○学校でゼロカーボンを進めるための教育 ○事業所での分別を促進するため、市からゴミ箱を配布する。または、分別用ゴミ箱の設置に要する経費を補助する。 ○生ゴミ処理方法の広報。家庭の生ゴミ処理方法を周知しては、NHKで新聞紙を利用して処理する方法を放送していた。
	②食品ロス削減の推進	○ムダな物は買わないよう冷蔵後の中をチェックしてから買い物をする。 ○食べきれぬ量だけを作る運動。家庭で食事を作りすぎないことが大切。	○ふわ女性会では県の「食べきり運動」を推進している。食事会では、始めと終わりに食べる時間を確保して、食べ残しが出ないように努めている。このような取り組みを広げると良い。 ⇒「地酒で乾杯条例」のように「食べきり条例」を作っては。	○県の「食べきり運動」協力店に登録している市内事業所が少ないので、登録を促す。登録店はお持ち帰りパックを提供してくれるので、利用者にとっても便利。 ○学校で食品ロス削減を進めるための教育
	③プラスチックごみ削減の推進	○分別する前に「買わない」ことを意識する。 ○マイボトルの所持を普及させる。 ⇒マイバックを持参する男性も多くなってきている。性別問わずに「若い人」にマイバックを普及させることが必要。	○3円、5円のレジ袋は簡単に買えて、すぐに捨てられてしまうので、100円程度の袋を販売して長く使ってもらおう。マイバックを意識づける。 ○お店がストローやスプーンを出さない。買い手はもらわない。 ○生活学校では、海洋プラスチック問題を紙芝居で伝える活動を行っている。	○会議ではお茶は出さず、案内の際に「マイボトル持参」を通知する。

その他意見

- 大野市と勝山市は「ビュークリーンおくえつ」を持っており、廃棄物処理の土壌がしっかりしている。
- 企業は商売が目的なので、環境に配慮した取り組み(商品を生分解性にしてもらう、コンビニでもマイバック運動をしてもらうなど)を行ってもらうには、行政側から働きかけることが必要。**数年前にケーキや恵方巻の食品ロスに対して、政府から小売業者に通知して、解消された事例もある。**大野市と企業がより強くタイアップすることが必要。
- サッカーチームの「京都サンガ」では、使用済みの食用油を来場者から回収し、バイオディーゼル燃料としてバスを走らせるという取り組みを行っている。県内の2～3の福祉施設で食用油を集めて、バイオディーゼルを作っているところがある。
- ごみ減量化に向けた流れは、「①ゴミを出さない⇒②分別する⇒③回収する⇒④リサイクルする」。それぞれの工程でアイデアを出して、大野らしさを出した取り組みができると良い。